

⑨【新潟大学地域医療教育センター・魚沼基幹病院】

住 所	〒949-7302 新潟県南魚沼市浦佐4132番地		病床数：454床
診療科目	総合診療科、内科（循環器内科、内分泌・代謝内科、血液内科、腎臓内科、リウマチ・膠原病内科、呼吸器・感染症内科、消化器内科）、脳神経内科、精神科、小児科、消化器外科・一般外科、乳腺・内分泌外科、心臓血管外科、呼吸器外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、泌尿器科、皮膚科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線治療科、放射線診断科、リハビリテーション科、麻酔科、救急科、矯正歯科、歯科口腔外科、病理診断科		
研修責任者名	高田 俊範 (新潟大学地域医療教育センター長)	連絡先：ttakada@med.niigata-u.ac.jp 025-777-3200 (代表) 2303 (内線)	連絡先担当者名：左記のとおり
新臨床研修医指導実績	・新潟大学臨床研修病院群研修プログラム採用 平成29年度：4人、30年度：5人、令和元年度：5人、2年度：3人、3年度：1人、4年度：1人 ・その他プログラム採用 平成30年度：魚沼基幹病院（基幹型）2人、県立十日町病院1人、長岡中央総合病院1人 令和元年度：魚沼基幹病院（基幹型）2人、県立十日町病院1人、県立中央病院2人 令和2年度：魚沼基幹病院（基幹型）1人、県立十日町病院2人、県立中央病院1人 令和3年度：魚沼基幹病院（基幹型）3人、県立十日町病院2人 令和4年度：魚沼基幹病院（基幹型）4人、県立十日町病院2人、県立がんセンター新潟病院2人		
研修受け入れ可能診療科※		学会認定専門医数	学会認定指導医数
必修：内科（総合診療、循環器、内分泌・代謝、血液、腎臓、呼吸器・感染症、神経、消化器）、救急科、小児科、産婦人科、外科（消化器・一般、呼吸器）、精神科	内科系39人（総合内科14、循環器2、内分泌1、腎3、肝3、透析2、糖尿病1、呼吸器3、消化器4、内視鏡3、神経3）、救急科1人、小児科10人（小児4、小児循環器1、新生児2、母体・胎児2、アレルギー1）、産科婦人科4人、外科系12人（外科6、消化器4、胸部外科1、呼吸器1）、精神科1人、整形外科7人、泌尿器科2人、放射線科1人、脳神経外科3人、耳鼻咽喉科1人、皮膚科1人、病理診断科2人、麻酔科2人、眼科1人、リハビリ1人	内科系19人（総合内科6、内分泌1、腎2、肝1、糖尿病1、呼吸器3、消化器2、内視鏡1、神経2）、小児科3人（小児1、母体・胎児1）、産婦人科3人、外科系7人（外科2、消化器外科4、呼吸器1）、精神科1人、麻酔科1人、泌尿器科2人、脳神経外科1人、整形外科1人（脊椎脊髄外科1）病理診断科1人	
選択研修：整形外科、泌尿器科、脳神経外科、皮膚科、耳鼻咽喉科、麻酔科、眼科、放射線治療科、病理診断科	内科系19人（総合内科6、内分泌1、腎2、肝1、糖尿病1、呼吸器3、消化器2、内視鏡1、神経2）、小児科3人（小児1、母体・胎児1）、産婦人科3人、外科系7人（外科2、消化器外科4、呼吸器1）、精神科1人、麻酔科1人、泌尿器科2人、脳神経外科1人、整形外科1人（脊椎脊髄外科1）病理診断科1人		
施設の概説・特徴			
魚沼圏域において、主に急性期医療、救急医療及び高度専門医療を担うべく平成27年6月に誕生したばかりの、地域待望の基幹型病院である。医療再編に伴い新設された魚沼市立小出病院（134床）や南魚沼市民病院（140床）等との連携を図り、「地域全体でひとつの病院」のキーワードのもと、一体となって地域完結型の医療を目指している。また、新潟大学医学総合病院の魚沼地域医療教育センターが併設されており、地域医療に携わる医療人の育成に力を注いでいくための教育機能も充実している。			
研修受け入れ可能診療科の説明			
内科：内科系の地域医療、総合診療、専門診療を切れ目なく実践する。基幹病院所属医師は基幹病院開設前から地域の中核病院で診療を行ってきたおり、生活習慣病の診療や予防医学の普及についても積極的である。複数臓器に疾患を持つ症例、診断の明らかでない症例、社会的問題を持つ症例などは、患者を総合的に診る総合診療医が各科の専門医と協力して診療を担当する。新潟大学医学総合病院に所属する教育センター教員は、各専門分野の最先端の知識と技術で診療にあたる。これ以外の領域で内科学会が資格認定に習得を必要としている、内分泌・代謝、腎臓、血液、神経、アレルギー・膠原病、感染症領域も、教育センター教員を中心に専門診療を行う。 救急科：魚沼地域の救命救急センターとして、一次から三次まで救急症例を受け入れる。重症症例は救急外来から直接集中治療室に入室し、専門医による高度な医療を受ける。 小児科：魚沼地域の基幹病院として新生児集中治療室と救命救急センターが設置されており、小児科全般にわたって幅広い領域の研修が可能である。NICUを完備し、新生児医療の充実は県内屈指となっている。 産婦人科：地域周産期センターとしてさまざまな異常妊娠・分娩を扱っている。加えて、婦人科悪性腫瘍手術や腹腔鏡下手術など幅広い手術を取り扱う。総合病院の利点を活かし、放射線治療も積極的に行っている。 外科：消化器外科、呼吸器外科、心臓血管外科に分かれて、新潟大学医学総合病院と同水準の診療、手術を行う。乳癌患者の集学的治療、消化器系の腹腔鏡手術、呼吸器系の胸腔鏡手術にも積極的に取り組んでいる。 精神科：地域の拠点として、精神科一般診療に加え、精神科救急、リエゾン、緩和ケア、学習会などに渡り、幅広く診療を行う。 麻酔科：手術中の全身麻酔管理を担当する。術前診察に基づき麻酔計画を立ててインフォームド・コンセントを行い、実際の手術麻酔（術中の全身管理）から術後診察までを担当する。さらに、術後疼痛管理も行う。 整形外科：外傷センターを設置し救急外傷に対応する。また、整形外科領域の腫瘍性疾患の診療を積極的に行う。 泌尿器科：泌尿器科の日常疾患の診療に加え、同領域の腫瘍性疾患に対して、集学的治療を行う。 放射線治療科：放射線治療学に専門医が1人所属し、各科専門医と協力して集学的治療を行う。 脳神経外科：脳神経領域の疾患に対し、外科の立場から専門的診療を行う。また、救急外来を受診する脳神経血管疾患に対し、地域の中核医療機関として対応する。 耳鼻咽喉科：耳科領域（中耳炎、難聴、めまい、顔面神経麻痺など）、鼻科領域（アレルギー性鼻炎、副鼻腔炎など）、口腔頭頸領域（扁桃炎、咽喉頭炎、睡眠時無呼吸症候群など）、頭頸部腫瘍（喉頭腫瘍、咽頭腫瘍、甲状腺腫瘍、唾液腺腫瘍など）の多岐に渡る疾患を対象に、魚沼地域で唯一の耳鼻咽喉科医師常勤病院として一般診療を行う。加えて、耳鼻咽喉科救急疾患や難治疾患にも対応する。 皮膚科：全ての皮膚疾患（湿疹・皮膚炎、感染症、腫瘍、乾癬、毛髪疾患など）について、最適の治療（5年、10年後に振り返ってみても、その時点の治療としては、最適だったと考えられる治療）と教育を行う。 眼科：魚沼地域の拠点病院として、加齢黄斑変性症や網膜静脈閉塞症への硝子体注射、眼の外傷、斜視弱視、角膜炎など膜疾患など眼科診療所単独では難しい疾患に対応する。また、重症の糖尿病網膜症、甲状腺眼症、視神経炎、ぶどう膜炎など全身疾患に伴う眼疾患も多く、他の専門科と協力して治療にあたる。 病理診断科：2名の病理専門医が様々な診療科から提出された検体を肉眼的・顕微鏡的に観察し形態の変化をとらえて病理診断を行う。			
研修の概説と特徴			
『大学病院の教員が地域の医師と協力して診療を行う魚沼地域の基幹病院』という特徴を最大限に活かし、地域医療、総合診療、専門診療を切れ目なく研修することが可能である。診療体制は、地域医療のスペシャリストである基幹病院所属医師、総合診療のスペシャリストである総合診療医、各専門領域の最新の知識と診療技術を身につけた新潟大学医学総合病院所属の教育センター教員がチームを作り、研修医を指導する。また救急診療では、一次救急から集中治療室での診療が必要な最重症例まで、すべての症例に対応した指導を行う。			
研修医の当直			
研修一ヶ月目から、週に平均一回救急外来の当直を担当する。一次から三次まで、指導医とともに救急症例の診療を行う。救急科研修の際には、救急科当直医師が指導にあたり、症例に応じて内科系、外科系の当直医師が診療指導に加わる。			
処 遇			
●給与：1年次（月額基本給）360,000円、2年次（月額基本給）390,000円 （諸手当）通勤手当：距離に応じた区分により支給、時間外手当：時間外勤務時間に応じ支給。 宿日直手当：21,000円/回（おおむね月4回）			
●食事：院内の職員食堂、コンビニエンスストア等利用が可能			
●宿舎：新築の研修医宿舎あり（1K又はDK。単身用30戸） 使用料 居室：月額無料 駐車場：月額5,000円 Wi-Fi完備			
●居室：研修医専用の居室あり			
●図書：文献：図書室で各ジャーナル、学会誌の閲覧が可能のほか、Medline、UpToDateなどの使用が可能			
●インターネット環境：院内でWi-Fiによりインターネット接続可能			

※「必修」、「選択必修」で掲載されている診療科は、「自由選択」でも研修可能です。